

金沢城の謎にせまる

齋藤 慎一

はじめに

1 金沢城の調査から

- ・城主は
- ・考古学調査から
- * 十四世紀から十七世紀初頭の山城
- * 金沢氏・六郷氏・佐竹氏の活用・・・拠点的な城
→戦争にともなう一時的な城ではない。・・・ “しっかり造った城”

2 中世城館の遺構

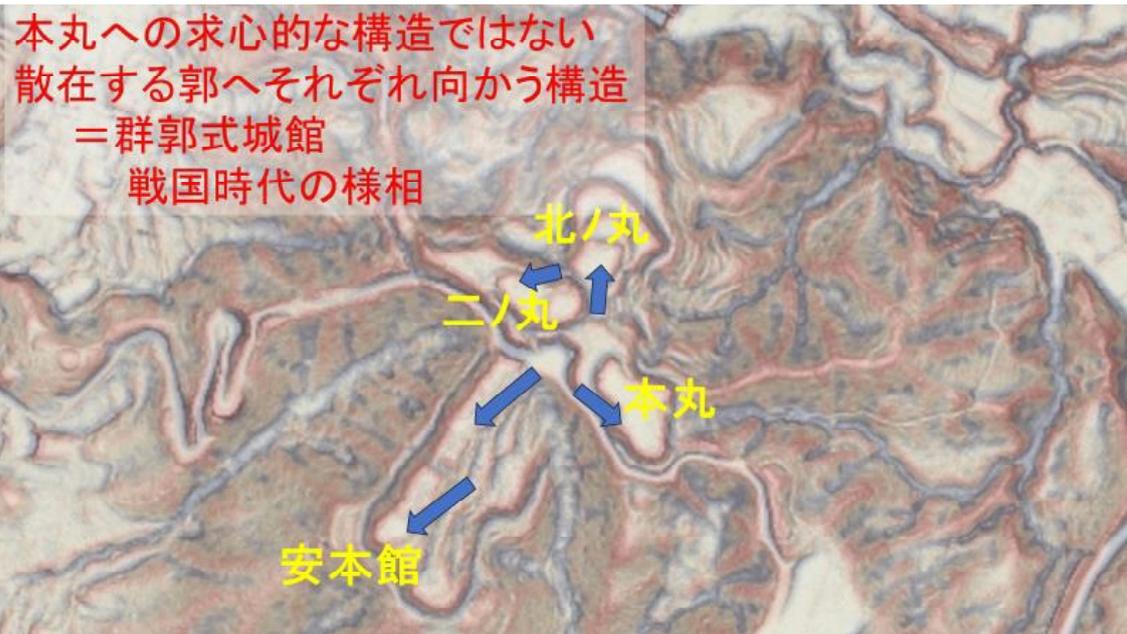
堀のバリエーション

- (近世城館) 水堀
- (中世城館) 堀切・豎堀・横堀
連続堀切・連続縦堀

★ 攻め手の侵入を「遮断」するか、通路を「限定」する役割

3 金沢城の遺構を読む

(群郭式城館)



- ・本丸への求心的な構造ではない
- ・散在する郭へそれぞれ向かう構造＝群郭式城館・・・戦国時代の様相

(主郭はどこか?)

二ノ丸が主郭では?

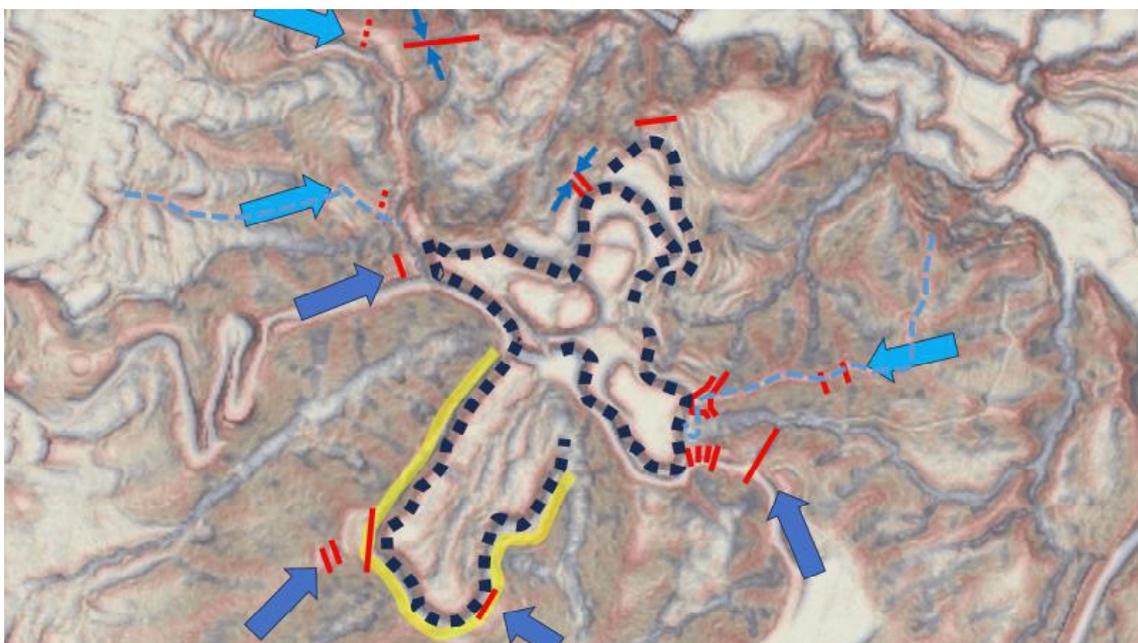
*北西方向に向けた城・・・大手の探索が課題

(正面はどこか? 主郭への道は?)

堀切と豎堀

西の丸のテラス

北側に下る道



4 小字「根小屋」

- ・一般論

山麓に設けられた城下の一角

そもそもが「小屋」なので、簡素なもので、仮の住居が淵源。

*領域内に拠点を持つ家臣たちが、登城した折などに使用か。

・・・拠点的な城館である側面。

- ・東北地方では珍しい地名なのでは?
- ・根小屋の位置
- ・金沢八幡宮への参道

おわりに

～想定される金沢城の姿～

- ・北西の城下と背後の要害

